THE WOMAN'S WEEKLY

第貳卷 第三十三號

每週金曜日發行

婦人週報

大正五年八月十一日發行

大正四年十一月四日第三種郵便物認可

定價一部四錢五厘

郵送料五厘

本號目次

□冒險旅行の犧牲者……小橋三四子
□時事週評
□一人一評＝鍋島榮子……冬湖
□新天地開拓の爲海外に婦人の出現を待つ……久留島武彦
□名士と其の母＝高田畊安氏
□都の人の田園生活
△鎌倉なる三輪田氏△簡易生活を試みらるゝ神谷家△初めて開かれた避暑寮
□白衣の天使
□ありのまゝ『△日本アルプスに登山して△皮相な外人の眞似
□變り物の洗ひ方……河口愛子
□野趣あふるゝ初秋の投入花……安達潮花
□海の料理……櫻井ちか子
□都會と田園……溥田斬雲
□オハナシ「猫と鼠」……たか子
□子供の智慧「△朝顔の蓄音機△面白い話とは」
□小說「孃ちやん」……阪東みちゑ
□短歌「みなし子」……安中花子
□時事……公娼廢止運動費……編輯室より

婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

健全なる家庭叢書の發刊

井口丑二先生著

三六判 クロース 美本
定價三十錢・送料四錢

四版

家庭叢書 第壹編
婦人の報德

婦人の報德の心を涵養せんとする目的を以て、極めて簡明適切に報德の道を祖述せるものにして、今尊德翁の稱ある金原明善翁は、本書を讀みて感激落淚する事深しと推奬せられたり。

早川貞水口演

三六判 クロース 美本
定價三十錢・送料四錢

再版

家庭叢書 第貳編
貞烈美談

貞水子の講談は世既に定評あり、本書は貞烈鬼神を泣かしむべき武士の妻と、苦節十一年遊惰の夫をして翻然悔悟して勤勉力行の人たらしめ、藩主より表彰されたる節婦おしの傳とを收む。趣味と敎訓とを兼ね備へたるものにして、何れの家庭にも必らず一卷を備へざるべからざるものなり。

京都府宇治郡長 前田宇治郎先生著

定價三十錢
送料四錢

新刊

家庭叢書 第參編
婦人の修養

附 吉田松陰の「女誡」鵜殿長快の「孝行歌」

古今の名婦賢婦、地方の隱れたる貞女節婦の實例を引用して、日本婦人としての修養の方法を極めて明快適切に說けるものなり。敢て世の修養に志ある婦人に此書を推薦す。

法學博士 井上友一先生序
醫學士 竹内薰兵先生著

三六判クロース美本
定價五十錢送料六錢

新刊

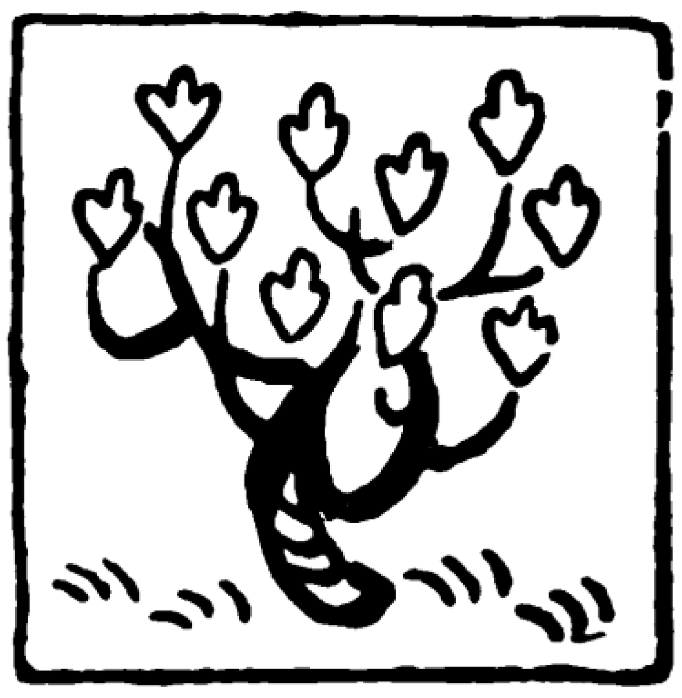
家庭叢書 第四編
子供の育て方

附 育兒問答

竹内醫學士は、多年の實驗と最新の知識とを兼備せる都下有數の小兒科専門の士なり。本書は其の多年の蘊蓄を傾倒して、如何にして愛兒を無病健全に有爲なる人物に育て上ぐべきかを說ける者、所說簡明適切にして、何人も一讀直に之を實行して効果を奏し得べきものなり。井上博士が本書に對して推奬讃嘆の辭を吝まれざりしもの決して偶然に非ず。されば苟くも子女を有する家庭には必らず備付けざるべからざる寶典なり。

發行所
東京市麴町區内幸町一ノ四
振替口座東京九七〇〇番
中央報德會

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



犧牲者を出した冒險旅行

警告の含まるゝ出來事

□雄壯な健兒の最後

最近の出來事の中で、世の親を戰慄せしめたのは、帝大學生四人が、冒險旅行を企て、甲武信國境なる國師ヶ嶽の絶頂に於て、慘死したる事であります。彼れ等四人の青年は、何れも學業優れ、隋弱なる當世の學生間には稀れに見る勤勉努力の人々で、殊に中には一人息子として兩親の鍾愛を一身に蒐めて居る者もありましたのに、ふと出た旅先で、この不慮の災厄を見るに至つたのは、眞に同情の言葉もない程であります。只今日の青年が往々不潔な快樂を貪つて、心身ともに腐爛して、終に滅亡の淵に陷る者に比して、遙かに雄壯な健兒の最後であつた事は、僅かに慰めとするに足りませう。

□冒險の意氣を阻まずや

冒險といふ事は、今後男子のみでなく女子にも大に奬勵したいと思ふ矢先き、かゝる出來事によつて、其の氣風養成を或は阻む事はないかと案じられます。然し退いて陰鬱となり、病弱な國民となるよりも、多少の犧牲は免がれぬとしても今後も益々勇氣を鼓つて、海に山に斯くの如き壯擧の企てられんやうに望むに就て、今回の出來事は圖らずも今後の冒險旅行家に、重要な警告を與へて居るものがあると思ひます。

□一人一人の用意が大切

其の第一は旅は道連れとはいふもの丶一人一人の用意が最も大切である事を忘れてはならぬ事であります。數人の道連れは確かに氣強い事で、彼斃るれば、我れ助け、我れ疲るれば、彼勵ますといふ賴もしい所があつて、旅行を樂しいものに致します。然し一人ならば容易ならぬ事として、周密なる用意を怠らざるに拘らず、多人數の旅行には、互に依賴し合ふ間に、輕擧が伴はないとも限りませぬ。一旦難所に處すれば、責任を持ち巡つて、遂に之れを負ふ者がない計りでなく、食糧も、勇氣も不足勝ちの場合は奪食し合ふ事が多く、早く疲勞を招き勝ちになります。更らに危急が迫つて來れば互に他を助くる暇なく、辛ふじて己のが身を救ふ事を務むるより外に途はありませぬ。今回の只一人の生存者中村氏の如きも、夢中で自分の救ひを遂げた者でありますが、最後迄努力が續いて、氏が再び父兄の許に戻つた事は、瞑目した友人等のせめてもの喜びであるに違ひありませぬ。

□踏破する山河の研究

救ひは個人的であるとは、古來の宗教や哲學の繰り返へしつゝ敎へた處でありますが、冒險旅行に於ては、宛然實物敎授を受くる氣が致します。各自其の責任を負ふ覺悟が出來ましたら、次に來る用意は、踏破せんとする山河を前以て與ふ限り研究する事であります。精密な地圖もあり磁石もあり、また地文天文の學問

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

も進んで居る今日であります。智識ある人々がこれ等を利用すれば、月や星の世界迄を手に取るやうに知る事が出來ます。萬一豫想の道がなくとも、迷つた節はかう、食糧が絶えた時はかう、海拔數千尺に達した時はかうといふ計畫を充分立てゝ行けば、當らずと雖、遠からぬ用意が出來やうと思はれます。

□體力の調査

も一つは旅行前の健康狀態であります。旅行前受驗の爲めの疲れもありましたでせう。殊に今回の青年等の中には一方ならぬ苦學した者があると云へば、積年の過勞は、其の體力を疲らして居つたかも知れません。ベースボールの撰手を待遇するには、食物、睡眠より、光線の射入、空氣の流通等、至らぬ限なく注意して常に其の體力を養つて置くと聞きます。冒險旅行が青年の元氣を鼓舞すると共に、其の一大運動の撰手として打つて出づるには、充分にこれに堪ゆる體力を養つて居かなければなりませぬ。既に冒險と名のつく以上は、尋常の娯樂の旅行とは違つて、餘程眞劍な考へがなくてはなりませぬ。而して旅行の資本なる體力調査を行はぬのは、失敗を招く基と申さねばなりません。

四人の犧牲者を出した今回の冒險旅行が、今後の旅行家を警告する處があれば地下の靈も亦瞑するに足りませう。

（三四子）

時事週評

□李王世子の御慶事　李王世子垠殿下には、此度梨本宮第一の姫方子女王殿下と、御婚儀御内定遊ばされしと拜聞致します。朝鮮が日本に合邦されてより、久しく疲弊したりし國民等は旭日に向ふが如き清新なる文化の恩澤に蘇つて居りましたが、此處に李王家が我が皇室と御婚儀を結ばせらるゝ事は更らに國民が母國の感情を養ひ、安んじて其の治政を喜び享くる上に、尠なからざる力あるを思ふて、慶賀に堪へませぬ。

□工場法の公布　一旦行惱みたる工場法案は、愈來九月一日より公布さるゝ事となりました。主に女工と十五歳未滿の男女工の保護で、先づ休憩を多くし、危險の場所を避け、病氣産後の取扱ひ等に周到なる注意を與ふる事より、職務上の負傷の手當を充分ならしむる事で、一つとして職工の利益ならぬはありません。今日迄稍もすれば牛馬の如く使役されて居つた勞働者が、眞に恩愛に感じて働らくやうになれば、其の結果は巡つて工場主の上にも多大の利益を見るやうになるのは、疑ひ容れぬ處であります。

二

□花の日の私娼救濟　別項時事欄に記載の如く、喜悦孝子、吉岡彌生の兩女史は、親しく千束町の私娼窟を視察し、警視廳にて撲滅を行ひたる後の處分に就て、其の救濟方法を講ぜられやうとして居ります。其の第一として東京至誠病院に附屬の施療病院を設け、外に婦人ホームを設けて、親切に身上の世話をしやうといふので、誠に時機に適した企てと申すべきであります。私娼撲滅は、救濟方法さへ當を得れば、自然其の目的を達せらるべき筈で、この差迫つて救濟事業に冷淡であつた我が婦人界を、誠に遺憾に思つて居りましたが、花の日會が卒先して、之れに着手したのは、永く忘るゝ事の出來ない功績であります。どうか會員の一致と、世人の同情の此の事業の上に集まらんことを望みます。

□小學生徒數の劇增　東京市内の小學生徒數は、年々非常な勢を以て增加し、現今在學生二十二萬人を數ふるにも拘らず、學校數は、僅かに二百卅四校に過ぎぬと申します。かくては教育の不完全に赴くのも當然の勢であります。昨今心ある親が、兒童の就學に際し、學校選擇に非常に辛勞する樣は、思ひ半ばに過ぐるものがあり、自然目星しき學校に志願者が集中する爲、七八歳の幼兒に早くも入學試驗の苦痛を負はせなければならない事になります。國民教育につき當局者の一段の留意を望んで止みませぬ。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一人一評

鍋島榮子

冬湖學人

▽李王世子が伊藤公に伴はれて東京に御留學の途に就かせられた時に、大韓國の上下は殿下を忌はしい捕虜――人質のやうに考へて、深く悲しみ歎いたものである。が、その殿下は成人遊ばされて、應に陸軍士官學校を卒業せられやうとしてをるのみでなく、こゝに傳聞するだも目出たい御婚儀の事も近く執行はせられるであらうと云ふ。

▽而して此の殿下に配させ給ふは畏くも竹の園生の姫宮中の御一方であると洩承つてをつたのである。が、世間に傳へられる處に依れば、その御一人とは正しく梨本宮殿下の第一姫宮に渡らせられるとか。この事を地下に知らば、如何に伊藤公は感泣することであらう。世子殿下の御成婚と共に、李王家も京城より東京に移らせ給ふとか。こゝに二千年來關係の密接なりし我が國と朝鮮とは名實共に一となつて、心より我が國民は萬歳を祝ぎ王家の繁榮を祈るのである。

▽この御慶事を祝賀しつゝ、今更のやうに回想するのは、新に李王家に入らせ給ふべき梨本宮方子女王殿下の奇しき御逸話を持たせ給ふことである。こゝに殿下の李王家に入らせ給ふは、外交上の手續に依つて併合された我が國と韓國とを層一層に深く骨肉の關係に結ばせ給ふことになる。その方子殿下は、先天的に此の使命を齎して生れ給ひしものではあるまいか。

▽殿下の母君に在らせられる伊都子殿下は誰も熟知してをるやうに侯爵鍋島直大氏と榮子夫人との間に生れ給ひし御方である。が、その御名には並々ならぬ御逸話がある。今日も上流婦人の社交的會合に列席した貴婦人達の名前を記す新聞紙には、殆んど紋切型のやうに毛利公爵母堂、鍋島侯爵夫人――と書れる位に、鍋島榮子夫人は我が社交界の權威であり、明星と仰がれてをる。

▽この榮子夫人が全權公使として直大侯に伴はれて羅馬に生の月を眺めてをられた頃に生れたのが美貌無比と稱へられし第二女――而して伊太利の都で生れたと云ふので、流石に大名出身の外交官の鍋島侯夫妻の無造作に、又思出を多からしめんが爲に、優にやさしき伊都子とは名付けたのである。が、その伊都子姫こそ後には梨本宮妃殿下とならせ給ひ、今は又李王家に入らせ給ふべしと傳へられる方子女王殿下の御母君にて渡らせられるのである。

▽この母君に生れさせ給ひし方子姫は、神々しき迄に美しき御姿にて在ませられると共に、御父宮は武人として勇しき典型を示させ給ひ、近く陸軍中將に陞り、榮職を帶び給ふと承はる。この御双親と彼の御祖父母と奇しき御逸話を持たせ給ふ方子女王殿下の我が皇室と李王家の楔子とならせ給ふは、實に美しきロオマンスではあるまいか。竊かに我が國民は李王世子と方子女王殿下との御婚儀の風說を拜承して生きながら錦繪に綴られし歷史の一節を讀む心持さへするのである。

三

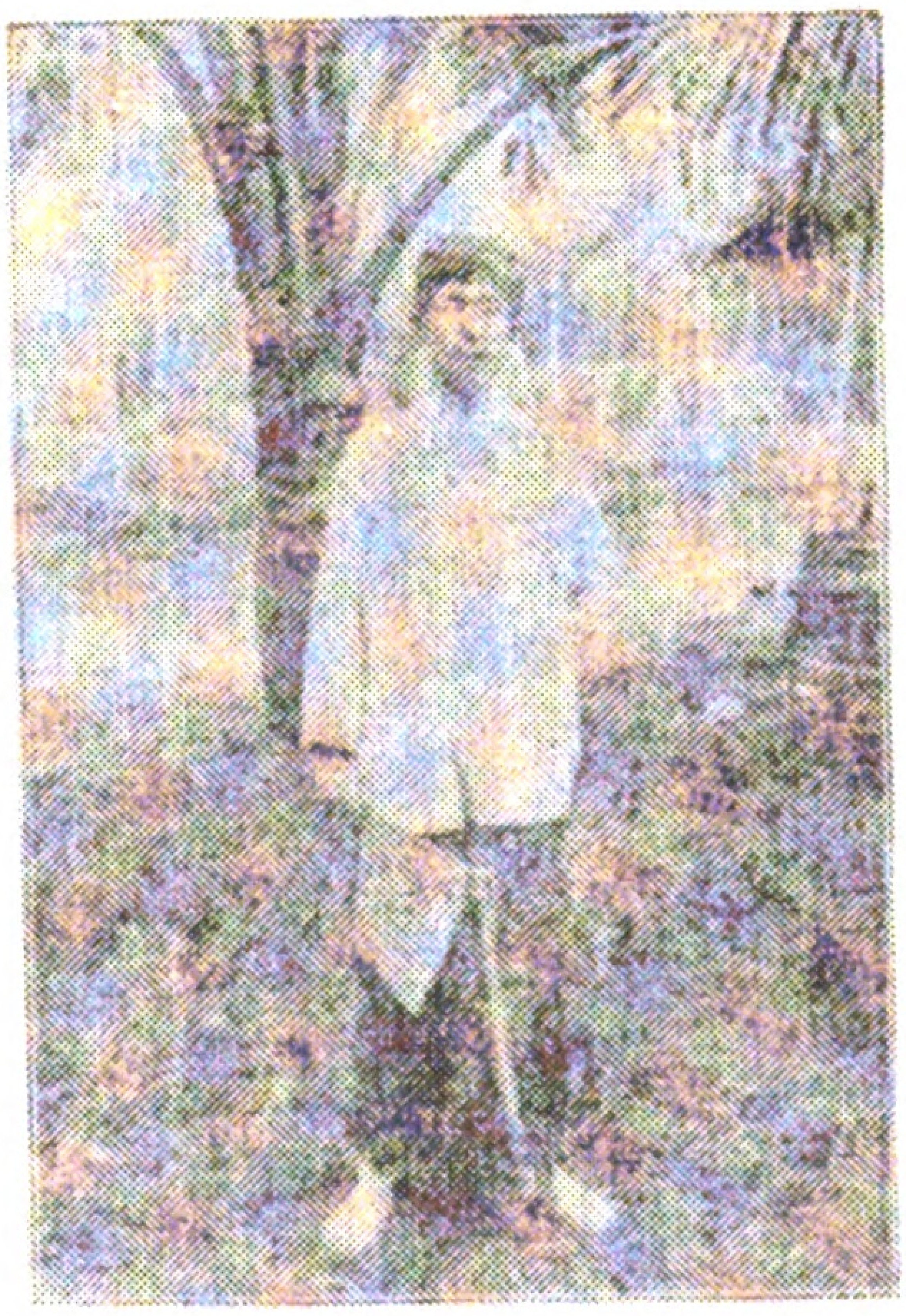
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新天地開拓の爲

海外に婦人の出現を待つ

南洋貿易の失敗に鑑みて

久留島武彦



ジャバ土人の紳士服を纏へる久留島武彦氏

□日本人の勢力は尚微弱

私は今度南洋へいつて見て、之れまで私が南洋に對して非常に誤解してゐたことを發見しました。日獨開戰の結果、マアシャル群島を我海軍が押へてから俄かに日本人の頭に南洋熱が燃え上つたのでありますが、吾がこの新占領の地は南洋全體から言ふと、産業上には殆ど顧るに足らぬ所であつて實質の南洋と言ふ所は、もつと廣やかな、もつと日本人にとつて有利な地であります。けれども現在の狀態は日本人の勢力は甚だ微々たるもので、支那人に比し一向振つてゐないのは殘念なことであります。

一體南洋と言ふ所は、之れを歴史的に見れば四五百年此の方日本人の活動範圍で、現實的に見ればその貿易が第二位を占めてゐるほどに關係が深いのであります。であるのに、日本人の勢力のないのは何うした譯かと尋ねますと、その裏には婦人が關係して居ります。

□僅に止むる歴史の跡

元來日本民族は中世紀の頃に八幡大菩薩の旗を押し立て、牛商人、牛掠奪の姿で、南支那から南洋方面に非常な勢で跋扈して殖民してゐましたが、今はその跡方もない有様となつて僅かにシャムに山田長政の名を留め、ルスンに濱田八兵衛の名が殘つてゐるのに過ぎません。そしてジャバのバタビヤの或る古い寺院の墓地の中に、幅三尺、高さ四尺の正方形の形をした内地人の墓が一つあつて、裏には和蘭文で、表には漢字で『留愛之碑』と記して名殘りを留めたものがある許りであります。之れも先年から同地の浮田領事が何か日本人の古い記念物が殘つて居はしないかと搜してゐられる矢先に、某一英國人に教へられて二年前に發見されたものなのでした。斯う衰微した裏面に婦人が關係してゐるのは何故かと言ふに、其の當時に意氣揚々と出發した先鋒隊に婦人が加はつて、婦人が力をかさなかつたが故であります。彼等の勇氣が衰へ、意氣が鈍つた時に之れを慰める家庭の内助者が居なかつた爲めに、最後まで元氣が續かなくて遂ひに同地方に勢力發展が根絶したためです。若し婦人が加つてゐたならば今日のやうに慘めなものでなく、その子孫が堂々たる位置を占めてゐることでせう。そして各領の商業上の樞機も支那人の手にわたらずに濟んだ事と思ひます。

□新渡航者の途塞る

婦人が加はらなかつた一事から受けた邦人の損失は夫れ許りでなく、何時しか入り込んだ他國人のために、全く新渡航者の途も塞つたこともあります。まづ今日の南洋貿易を見ましても、その悉くは支那商人を相手に取引きして居りますから土人から得る多額の利益は、すべて支那人の懐に這入ると言ふ次第、試み

四

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

にマニラだけの營業税を調べて見ますのに、その八割五分が支那人で、殘りの一割五分が世界各國の人の納めるものでした。此處でも足利氏の中世紀に起つた八幡船頭から若し邦人が續けて經營してゐたらば、婦人が大發奮して良人に從つて渡航してゐたらばと思はずには居られません。

□醜業婦の跋扈

さは言へ、徒らに過去を追懷しても致し方がないから飜つて現在を見るに、現在の婦人の渡航者の多い事は驚く許りで、しかもその婦人が六千人以上も醜業婦で、殆ど如何なる地にもこの種の女が入り込んで居ない所はないと聞くに及んでは轉た今昔の感なきを得ませんでせう。僅かにマニラのみからでも彼等が稼いで日本に送る金は一年に五萬圓、シンガポールからは二十萬圓だと言ひます。この事實を聞いて或る人の如きは、『醜業婦だつて差支へないではないか、同地方における日本商人の振はないのに反し、彼女等は何の資本もなしで年々五萬圓も送つてゐる。』と言つたと申しますが、その人はこの女達が五萬圓乃至二十萬圓の金を送る爲めに、何百萬圓に値する日本の信用を毀してゐるのに氣付かないのでせうか。私は之れ等の日本婦人の勇氣が志ある婦人の力によつて、正道に導かれん事を希望して止みません。

□ブリキ鑵を擔ぐ人

では南洋にある日本商人の位置はと見るに、賣薬業かその日暮しの無頼漢が多く、ブリキの鑵を擔ひながら子供を相手に心天を賣り歩き、三厘五厘の利益を得て生活してゐるのであります。嘗つて新渡戸博士が南洋視察にいかれた時自働車を驅つて田舍路を走つてゐられると、路傍に遊んでゐた子供達が車上の博士を指してモンゴー、モンゴーと叫んだので、運轉手が眞赤になつて怒つてその子供達を追つかけたさうです。すると博士が、『そんなに手荒い事をしなくも宜いではないか。彼等は私がモンゴリア人種に屬することを知つてあゝ言ふだらうから』と仰有ると、運轉手が『いえ、モンゴーと言ふことはブリキの鑵を擔ぐ人と言ふことだから私は腹が立つて仕樣がないのであります。』と言つたと申します。この一事を見ても如何に南洋の人に日本人が劣等な國民に寫つてゐるかゞ分りませう

□兒童數は勢力の標準

要するに新天地を開拓しやうとすれば必ず健全な家庭が之れに伴はねばならないことは自明の眞理に見えます。國力の發展は男子の力ばかりでなく、之れを助ける婦人による事は、南洋から出て歐亞の關門であり、世界各國人の競爭地であるシンガポールに行つて見れば直ちに分ります。同地で兒童數の最も多い國ほど勢力があり、日本の學齡兒童は僅かに三四十人、香港に於ても五六十人を越えません。之れに比して南洋のセレベスのメナドと言ふ港町に行つて見ると、和蘭語を學ぶ支那人の子供（中流以上の子弟が和蘭語を學ぶ。）が五百人以上あると言へば、支那人の勢力が略ぼ想像し得られませう。又ジャバ島のみの人口を調べて見ると、土人が三千萬人、歐洲人が十五萬人、支那人が八十六萬人、日本人が千四百人居ります。南洋は好ましい日本のお得意先きなのに斯る狀態にあるのは悲しむべきことでありますから、今は男子を助ける海外に目覺めた婦人の出現を待つ許りであります。氣候は平均八十六度、夏冬の溫度の差は十五度前後、思つたより住み易い地で、且つ亞米利加に行く半數の日數を要せずに行かれ、朝の一時に臺灣の南端鵞鑾鼻燈臺の火を見て、その日の夕方の七時には南洋の北端ボジードールの燈臺の火を見得るほどの近さで、日本とは極めて接近して居ります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

名士と其の母（十八）

醫學博士 高田畊安氏

六

□女大學によりて戒めらる

私がまだ五つ六つの時でした、夜ふと目を醒して見ると、父が劇しい聲を出して母を叱つて居る。母の端座して居る前の文臺の上には、女大學が擴げられて、父は其の字句によつて戒めて居られた。私は早速起き出で、、父の前に手をつき、「どうか母樣を許してあげて下さい」と謝罪つた事を覺えて居ります。

□母の爲の祈願

其の後十二三歳の頃でしたか、嚴しい父に屢々叱かれる母がいかにも氣の毒に覺えて、人知れず天滿宮や八幡樣を巡つて、眞心籠めて「母が叱られぬやう」にと祈願しました。この事を或る時母に洩らすと、押へ難い涙に咽ばれた事が、今もあり〳〵と目に浮んで來ます。

□兩親は神樣のやう

母は六十五歳で明治三十三年に亡くなりましたが、一緒に住つて居つたのは極めて短日月でありました。私共の郷里は丹後の中條村ですが、父は西洋醫を早く學んだ件を以て綾部藩に召し抱えられる事になり、丹波に赴くとて、十一歳の私を先づ伴つて行つて、下宿住居をして居りました。其の後父は京都を經て、東京に住ふやうになりましたが、私は京都の醫學豫備校に在學の爲め獨り京都に止つて居りました。

明治十七年卒業して兩親に見えんとて上京すると、友人等の勸めにより大學醫學部に入學する事になりました。其の後は兩親と共に在つても、勉學や職業に追はれて、緩々孝養を盡す暇もなく、遂に母を失つた翌年父にも別れました。私は今に父や母の夢を見る位で、常に兩親を神樣のやうに有難く慕はしく思つて居ります。

□神々しい母の姿

さればと云つて、私の兩親が殊更ら優れて居つたのではないのですから、取立て、お話する逸話等もありません。然し嚴しい父に天の如くに敬ひ仕へて、一言の口答へもした事がなく、多勢の子女の教養に終日いそ〳〵として立働らかれて居た母の姿は、子供心にも誠に神々しいと思はれました。母は柔和、謙遜、勤儉等いふ女德は遺憾なく備へて居つたやうです。

■山脇博士談に追加

前々號掲載の「職業は神聖」の篇中左の言を加へられ度き旨博士より申越されました。ミル氏が職業に關しては、男女同權なりと論ぜられたる中に、女子は經濟上獨立せざるが故に從屬の地位に居らねばならぬのであるから、男子は成るべく自分等の領分内に入り込まぬやうに努むるのである云々。又道德上から經濟上の獨立を稱贊して曰く、勞働して收入を得る女子が男子の賃金を抑壓する結果として、從來男子のみにて得たる所の賃銀より、より以上のものを得る能はざるに至るとも、之れ決して憂慮すべき現象ではない女子が糊口の爲め全く男子に賴るに及ばぬ といふその狀態こそ眞に完全な代償となるのである云々

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

都の人の

田園生活

湘南の避暑地巡り

鎌倉なる

三輪田氏の家

趣味の百姓

『一度鎌倉の私達の百姓家を訪れて私達の百姓振りを御覧下さい。小供も大人も一つになつて隨分色々なものを作つてゐますから。』と曾つて三輪田元道氏が仰有つたことがあるので、鎌倉に着くと直ちに同氏をお訪ねする。朝の八時。由ケ濱から五六丁ばかり奥へ、別莊と別莊との間の小路を辿つていつたとある松並木の蔭にある。木の香の新らしい二階建の別莊風の家、花崗石の門前に立つと強烈な日光が植込みの青葉に彈け散つて玄關まで敷きつめた可愛い小砂利の上に白く光つてゐる。絶えず木立の下を涼風が吹いて奥庭との境にあるらしい萩の小枝をゆすぶつてゐるのも心地が宜い。眞白の阿波縮の單衣の上にグル〳〵と黒メリンスの兵子帶を巻きつけた無造作な裝ひの氏はニコ〳〵して出られたが、お顔は濱邊の海女のやうに焦茶色にすゝけて、之れでも都人の一人かと疑はれるほど眼と齒とが際立つて白いのがをかしかつた。

冷たいやうな風の吹く二階に上ると裏山がお庭つゞきに見られる。

『自然の風景には定つた所有者がありませんでせう。ですから自分の庭の中に山などを入れることの出來ない貧しい土地に家を建てる人は能ふ丈け自然の景色を利用するのですね。』と氏はおつしやる。

表庭へ下りると庭の中央に丸木柱の四阿があつて植込みがあつたり、南瓜畑があつたり、玉蜀黍の藪があつたりする。何處までが畑で、何處までがお庭だか判然した區別がなくて、思ひがけない所に大きな庭石が据ゑられたり思ひがけない所に甘藷の蔓が這つたりしてゐるのも都の風の吹き入らぬ鄙びた田舍家らしくて面白い。

庭に向つた室々からは何處からでも降りることが出來るやうにしてあつて、庭の中には小路が無數にある。氏は夫れ等を顧みて、

『この庭は母（校長の眞佐子刀自）の散歩に便利な樣に、かうして路をつけて置きました。』と仰有つてゐた。松や杉の木に交つて萩や桔梗や女郎花などが蕾を膨らませたり、花をつけたりしてゐる。ダリアや鬼百合なども盛りの日を歌つてゐた。蜜柑や無花果や栗や柿もある。

『この葡萄は私が食べた實の種を植えて育てたのですがもう實がなりますよ。』と誇らかに指差れた所にはまだ青い房をつけた葡萄蔓が丈の低い柵に絡んでゐた。畑には大根、茄子、里芋、甘藷、南瓜、胡瓜、唐辛、虹豆、玉蜀黍など一息に數へ切れぬほど植えられてゐた。

『親百姓を見慣つて孫達までが黒くなつて百姓を初めましたよ。西瓜を食べてその種を蒔きました所が、もう二葉が出てゐます。』と何時の間にか四阿へお出まし

七

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

になつた眞佐子刀自は、秋草模樣のメリンスの浴衣の袂を涼しさうに風になぶらせ、向ふの方を指差して微笑して立つてゐられた。視線の落ちた所にはブヨ〱した軟かい丸い二葉が日光の中に息づいてゐる。『子供達は季節の觀念がなく、唯蒔けば生えると言ふ事のみを知つてゐるらしいから面白いんですよ。』と傍で氏が笑はれた。平和な空氣に包まれてゐるのを沁々と感せずにはゐられなかつた。

簡易生活を試みらるゝ

神谷家

秩序と時間とは重んず

美男におはすと歌人に謳はれ給ふた長谷の大佛さまを拜んで、夏木立の下の險しい坂路をダラ〱と由井ケ濱の方へ下ると、路の右側に片假名で『カミヤ』と記したさゝやかな洋館がある。眞晝時になると庭の芝生に張られた天幕の下で、輕快な洋服をつけたお子樣達が暑さを知らぬ顏に遊んでゐられる。之れが家庭改良に熱心な神谷信子夫人の別莊である。

『お熱かつたでせう。』と井戸から汲み上げたばかりの冷たい水を金盥にとつて下さる。家の中は何處も〱一目で見渡される作りであるのに、間取りが巧みにしつらへられて廣々と使はれてゐる。散歩して歸へると先刻雜談を交してゐた應接室が食堂に早變りをしてゐた。私が零時三十五分には出發せねばならぬのに零時十分前にまだ散歩してゐると、『お母樣、時間はまだ大丈夫？』とお子さまがお尋ねなさる。『えゝ大丈夫。まだ四十五分ありますから歸つてゆつくり御飯を頂いても充分間に合ひます。』と答へて私の方にむき、『日本の人は時間の觀念が乏しいから私は斯うした機會を捉へて養つてゐます』と仰有る。良習慣も崩がちな避暑中に一寸變つた生活だと思つた。

初めて開かれた

避暑寮

女子青年會の事業

見渡す限り松林の青くつゞいてゐる鵠沼は、私の若い幾多の夢を織り込んだなつかしい地である。戀人を尋ねるやうな甘い思ひに耽つた私は今年から初られた女子青年會の避暑寮を音訪れた。電車の停留場から約十町あまり右に行つた所、玄關の右横に井戸のある二階建の家であつた。井戸端に中年の婦人が白い布を洗つてゐられたからI女史――私が紹介をうけた――の名を言ふと、その人が然うであつた。紹介狀を出すとチラと厄介者が來たと言ふやうな視線が光つたが、兎も角も私は室の中に通して貰つた。私が非常に急ぐからと言つたがI女史は一寸と言つてまた井戸端に行かる。家の中にはもう一人婦人がゐられて私にお茶を出さうとされると、『私のお客樣ですからどうぞお構ひなく……』と仰有る。私は何だか變な氣分になつて了ふ。『一晩でもお願ひ出來ますでせうか』とお尋ねしたら、『此處はすべて自炊で、お賄ひするやうな設備になつてゐませんから、サンドウキッチでもお持參になればですが、一晩位ゐなら宿屋にお泊りなすつた方が宜しいでせうね。』と素氣なく仰有るのであつた。斯うした事業は、特種な生活を望む人の爲に初められたのではなからうか。私はもう何も言とはないやうな氣がする、泊らうと思つたのではないから。唯これも愛を心とする基督敎の一團體から成つてゐると思ふと深い悲哀を覺えた。（民子）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

白衣の天使（一）

倦むことを知らぬ病者の友 本多令嬢

□天使のやうな一令嬢

太陽は昨日のやうに、一昨日のやうにまた十年前、百年前、千年前のやうに、透徹な同じ光りを地上に投げて輝いてゐるのに、世の多くの人の心は日毎〱に暗く、邪に荒んでゆきます。そして互に相食み、傷つけ合つて、果ては相手を亡ぼさねば承知しないまでに心の刄を光らして了ふ。其處には神や佛の途に通ずるやうな柔かな感情は殆どない。たゞ小さな、毒々しい技巧が上手に操つられてゐる許りであります。かうした場面をつなぎ合せたやうな現世にあつて、天使のやうな清い心で、献身的に多くの人の病床に立つて看護に餘念のない一令嬢があります。その面差しは太陽の光りのやうに何時も輝いてゐる。重病人などの時に少しお休み遊ばしては、と他の人が言ふと有りがたうございますが、あの方の苦痛の薄ぐ時に私の心も自ら休みますから、と疲れた色もなく、何かと行き屆いた世話をなさるさうです。この令嬢の名は本多とも子と言つて、舊の青山學院の院長で美以派の日本に於る最初の監督故本多庸一氏の愛嬢でございます。その美しい足跡は肺患者の樂園である茅ケ崎の南湖院と共と永久に人の心に印されるでせう

□振りの袂を脱ぎ換ゑて

夫れは大正元年の七月の某日でした。孃はまだ矢絣りの振り袖の袂の戀しいやうなうら若い身を、小さな柳行李と共に俥にのせて、輝かしい顔に微笑さへ含みながら、相州茅ケ崎の南湖院の門をくゞり、直ちに白い看護婦の正服に着物を代へられたのでした。夫れから幾年かの今日まで、唯の一日も休むことなく、死なねばその苦痛から遁れ得られないもの、やうにまで思はれてゐる氣六ケ敷肺病の患者の傍に侍し、夫れ等の人を魂の底から溢れ出る愛の光りで温く抱擁しながら、靜かな、靜かな聲で、さながらに、『早くお癒りなさい。私はあなた方を苦しめる病菌と力の限り戰つて、元の健康な人としないでは置かない積りで居りますから。』と仰有つてゐるかのやうに見えると申します。今は重病人を收容する三病室の主任をなすつて居りますが、到底三十に充たない若い人とは思はれぬほど行き屆いたものだ、と人毎に褒められ、高田院長からはこの病院に於ける生きた誇りとして噂をされてゐられます。

□南湖院の誇り

曾つて院長高田畊安氏が、或る人に、『看護婦と言ふものは病者に對しては慈母の如くして接し、自己の職務に對しては神から授つた天職の如く心得てゐるものでなければ全く完全なものとは言ひ得ない。しかし、夫れまでには望み能はぬなら、せめて自己の唯一の尊い職業として之を尊重し、眞心をこめて盡して貰へば宜しい。婦人のとる職業としては、決して

九

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

その天性に反する性質のものではなく、又收入の點も惡い方ではないと信ずるから。』と語り、そしてなほ言葉をつゞけ

「私共のやうにかうして特種の病人を收容する病院にあつては、殊にこの要求を深く感ずる。彼等は靈肉の二方面から之れを治癒せねばその効は見えないし、多くの患者を私一人の手に引きうける譯にはいかないから。いきほひ此の事業を助ける助手たる良看護婦の出現をまたねばならない。本多孃の如きは私が久しい間求めて止まなかつた看護婦の一人である云々。」と仰行つたさうです。また同病院の看護婦長吉村刀自は、

『三病室の患者は重病人が多いのに晴れやかな本多さんの御顔色に感化されてか徒らにしみ〴〵と行末を案じわづらうやうな人は見當りません。』と驚いてゐられます。この人皆の誇りにされてゐる本多とも子孃は漸く今年二十五か六かのまだうら若い、水々しい光りを湛へた印象深い、瞳の黒い涼しい眼の人、何時も和やかに微笑んでゐられます。けれどこの微笑の蔭には非常な決心の光花が散り美しい此人に白い服を纏はせたのであります。

ありのまゝ

皆樣の御生活のありのまゝを二十行内外に御投稿下さい

□外人の風俗の眞似

私は此の頃時々海水浴に行きますが、此所で甚だ不快に且つ奇異に思はるゝ事が眼に付きます。それは、外人の風俗を、眞似る人の、多くなる事です。是は年と共に次第に、多くなるやうに思はれます。さうして此の風は初めは或る下流の婦人―例へば外妾の如き―に限られて居たやうでしたが、近頃はそれが中流或は上流にも及んでなるやうに、そして次第に盛になるやうに見えます。

儀式張つたところ或は公會の席等では如何しても洋裝の必要な事もありませう、然し皆樣も寫眞或は實際を御覽なつたかも知れませんが、外人の和裝して居るのが必ず奇異に見えませう。吾々の眼より見て日本の御婦人の洋裝されて居るのも亦之と同じであります。

元來各國民の服裝は、それ〴〵長い歴史を有して居ります。例へば、日本の現在の衣服は幾千年の昔より次第に改良されて今日のものと成つて居るのでありませう、又吾く迄も同一です。此の長い間の改良は知らず知らずの間に其の國人の體格に最も良く適合したものと成つて居るのであります。言ひ換へると和服は日本人に最も良く適し洋服は吾々の如き者に一層良く似合ふのであります。私は常に不思議に思ふのです、美術、そのものゝ樣な振袖等をすてゝ何故下らない洋裝の眞似なんかするんでせう。少しもさうする必要の有りもしない所で。近頃は金光のケバ〱しい腕輪等を嵌めたり、鎖を下げたりして得々たる人さへ見受けます。私は日本特有の風―日本の方に最も適するしとやかな風俗の次第に衰へてゆくやうに思はれて心細く思ひます（大磯にてミセス、メンデルソン）

▲人の思想が變はれば、外形の變つて行くのは自然の勢で、これを堰止める事は流れを戻すほどの難事でございませう。然し外人の風俗を皮相に眞似た位、心地惡いものはないと記者も同感に堪へませぬ。どうか流行がほんとうの趣味から生れて來るやうにありたいと存じます。（記者）

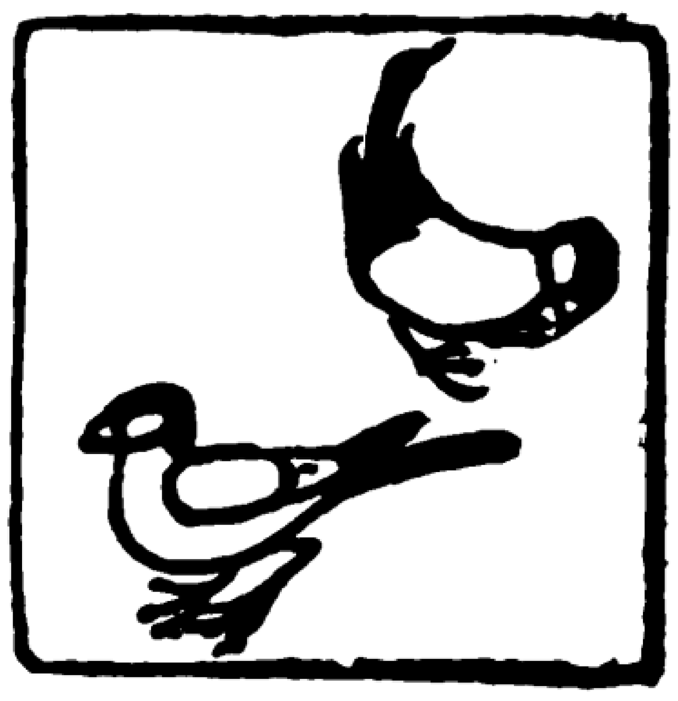
□日本アルプスに登山して

過る卅日より曙に高き日本アルプスといふ白馬岳に登山、御承知の如く危險の度に於ても、美觀の點も、到底富士の比にはこれ無く、一里余の大雪渓をカンヂキにて渉り、九十九折の危險地より上は、展開せる一面の高山植物、赤や白やくさ〴〵に其の美くしさやさしさ、さながらパラダイスに候。頂上は一萬尺の高處にて遠望は越中立山連山より、東は淺間の煙たなびき、今朝雲の海の間より日の出の壯觀を見し時は、思はず神の力の偉大なるに感じ、涙の中に祈り申候。同行四人山上にテントを張り、露營二夜いたし候。山上にて或は早天祈禱會を催し、植物の採集、寫眞の撮影等いたし、只今下山、實に壯快なる登山に候ひし。

婦人登山者は曾て西洋夫人一名と學校教師の二名の由、登山者等皆驚異の眼を以て私を見送り申候。雷鳥を追ひて、這松の間に逃がせしなどの珍談も之あり、歸濱の上は婦人週報紙上にて、多くの婦人方に御紹介いたし度と存じ居候。（アルプス山麓にて大橋繁）

▲是非御撮影のお寫眞と共に次號にお回し下さいませ。樂しんでお待ち申して居ります（記者）

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



變り物の洗ひ方

洗濯の仕方（二）

中村高等女學校教諭　河口愛子

□毛織類の洗濯

メリンス及び毛織類には曹達は一切用ひません。最も上々なのは、粉末マルセーユ石鹸（なければ普通の浮き石鹸）を水に溶して用ふるのです。でなければ布海苔でも宜しい。毛類は揉み洗つたり、絞つたりすると、地が厚くなりますから是非避けなければなりません。

□脂肪を糺とす法

襦袢にせよ着物にせよ、衿が油じみて困る事があります。其の時には、布海苔をドロ〳〵位に溶いたのを付けて洗ふと、どんな色ものでも禿げません。これは衿垢ばかりで無く、墨、朱、車の油等にも用ひられます。こうしたものゝ古い汚れは、暫らく湯氣で蒸して垢を浮せてから布海苔で洗ふと全然おちます。然し白粉の汚れは決しておちません、それには、酸性亞硫酸曹達を海綿に浸して、輕るく拭くのです。餘り強く擦ると地を痛めますから注意しなければなりません。

□艶を消さぬ注意

絹地、繻子地等の艶を消さないやうにするには、椿の油粕を袋に入れて熱い湯をかけると、油氣が出ますから、これに適宜の水を加へて、その中へ浸けて洗ふと艶が消えません、けれども白絹等の時でしたらば、過酸化曹達少量を水におとして、洗ひますと全體にやゝ赤味を帶びますから、後で醋酸か稀硫酸を薄く溶いた水の中に入れると眞白になります。白衿等の赤くなつたのは過滿庵酸をつけ其上に酸性亞硫酸曹達をつけて、未だすつかりおちませんでしたらば、幾度も〳〵も繰り返します。そして最後に水でよく濯いで、濡れてる中にアイロンをかけて仕上げます。

□ブラッシの用法

洗濯の時に最も注意しなければならぬのは、ブラシの用法です。即ち博多、羽二重、鹽瀬、又は縮緬等凡べて横に太い糸の使つてあるものは、必らずブラシを横に用ひ、縦に太い糸のもの、又は平絹類は凡て縦に、綾總類は斜目に、繻子、天鵞絨は横に、而し左右にブラシを用ひず、一方づゝに、つまり初め右ならば右の方へばかり順々にブラシをかけ次に布の向きを替へて又右なり左へなり、一方へ向けてブラシをかけるのです。でないと毛を傷めます。次にブラシをかけられ無いやうの薄絹は、掴み洗にします。水の中で掴んだり放したり致すのです。

□洗濯ものゝ仕上げ

洗濯ものゝ仕上げは、普通の夏もの又は木綿もの等でしたらば、銀生麩を薄く溶いた海苔をつけ、よく乾してから、一面に霧を吹いて、全體に滲みるやうに暫くの間丸めて置いて、水氣の廻つた處でアイロンなり、疊み付けなりで仕上げます。絹物で張る事の出來ない時、又は急ぎの場合で張つて居る暇の無い時には布海苔の薄いのを吹いて、やはり暫らく置いて、裏から薄い布を當てゝアイロンをかけます。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

野趣あふるゝ

初秋の投入花

花野の千草は悉く好材料

安達潮花

口初秋は草花の時節

夏の終りから秋にかけて、野邊に咲く草花は、野山川沼至るところ露をふくんでしほらしく、其種類も幾百種も御座います。秋は一年中草花の好季節で、滋味の多いもの、清洒のもの、しほらしいものなぞ、春とは自ら情趣が違いまして、野趣あふるゝばかりで御座います。

口花の個性美の發揮

投入といつても無雜作に投げ挿しにするのではなく、生花の範圍のもので、形にも、配合にも、色彩にもすつと苦心と趣向とを要しますが、一般生花のやうに一つの美しい『類型』を定めて、花をこの型の中に嵌めやうとするのでなく、千態萬様に生長した花卉の自然を尙んで、花の個性美を發揮させますのですから、いろ／＼な形の野草も、それ／＼天賦の美しさをあらはす事が出來ます。ですから如何なる野草も、すべて投入の材料として取扱ひ、殊に秋草の野趣は投入花として最も悦ばるゝ所で御座います。

口拙なき配合と巧な配合と

繪畫にしても花壇、盆栽にしても、花卉と花卉と二つ以上配合する時には、互に引立つて益々美しさを増加するやうに工夫する事が第一です。互に調和しないでも、不調子に見られぬ場合と、互に特徴を損しやつて不愉快な配合になる場合もあります。一は積極的、二は消極的、三は非藝術的で緣日に賣る寄せ植の草花でも、非常に拙ないものが御座いませう。昔から好配合といはれて居る桔梗や女郎花などは、誰が見ても無理には思はれないでせう。投入では殊に秋草の配合に趣向を要します。

口花器の撰擇が第一

花器の形、色彩、容積、情緒が挿す花

十二

水の良否

海水浴、温泉場にての心得として立教女學校教諭村松氏が

山でも海でも異つた土地に參りますと水が惡くて困る事がございます。例へば硬水で石鹼が溶けなかつたり、顏が荒れたりします。斯云ふ時には一度沸騰させて用ひますとよろしいのです、

と云はれた記事が前號に掲載されて居ります。炎熱灼くが如き今の季節であるから海に山に避暑せらるゝ際には以上の事柄に就いて大いに戒心しなければならぬ事と思ひます。實際使ひ馴れぬ水などで洗面を致しますとお顏の肌を荒らしたりする事が往々ありますが一々面倒な水の試驗をしてから洗面をいたすなどは到底手數の繁に堪へぬのであります。夫れには石鹼よりも慥かに優等で絕對に肌膚の荒れぬ理想の美身料日本名物のクラブ洗粉をお使ひになれば水に溶解せぬ事もな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と調和するか否かの關係も、前の配合と同じやうで、投入の第一要件で御座います。投入の花器とさへいへば、澁味の多いもの、古色蒼然とした時代ものが悦ばれますが、挿す花の如何によるもので大に考へなければならぬ問題で御座います。試に草を挿すにしてもいろ〳〵な花器を[illegible]いたしますが、花器でないものでも、例へば煎茶の炭斗、ワラで編んだ手提げ、ピク、茶壺、菓子器など手近いものでも用ひられます。

□野草の配合のしかた

例へば乙女かづらと露草、晝顏とあれち野菊、ねこぢやらしと犬蓼など好配合で、乙女かづらに犬蓼、晝顏に露草を配合すれば、拙の拙なる取合せになつたでせう。（つゞく）

海の料理

櫻井ちか子

□烏賊の刺身　烏賊の皮を剝き、小口から薄く切り、山葵醬油又は生姜醬油で食べるのです。烏賊は必らず新鮮なのでなければなりません。

□貝の柱の卸しあへ　大根を卸し暫らく水に浸けて置いてから布巾に包み、水を搾つて置きます。これに三杯酢をかけ、その中に貝の柱を入れるのです。

□海鼠の三杯酢　海鼠を縱に腹を裂いて腸を抜きよく洗つて小さく切り、三杯酢にするのです。其の上に微塵に刻んだ生姜を振りかけます。又切つてから鹽でよく揉むと身が固つて、こり〳〵する樣になります。硬いのを好む人にはこの仕方で拵へた方がよいのです。

□水貝　鮑を貝から放し、鹽で擦つてよく洗ひ、五分角位の大さに切ります。別に深い丼に鹽水を作つて置いて其の中に入れ、又胡瓜を薄く刻んで鹽で揉み、側に添えて出します。

□獨活と赤貝の黃味酢和へ　獨活は短冊に切つて水に浸し、赤貝は貝から取り放して腸をとり、鹽で揉み目笊に入れて、ゆすりながら洗つて水を切り別に鷄卵の黃味だけよく攪きまはし、砂糖を加へて酢でのばし、一寸湯煎或は文火にかけ、ごろりとなる程度にして冷まして置きます。前記の獨活と赤貝とを體裁よく盛り合せ、黃味酢を其の上から掛けて出すのです。

く又洗つた後の心地がよく、皮膚の汚れをよく洗ひ落してスベ〳〵と滑らかになし、生れ代つた樣にお顔の色艶が非常に美しくなります。粗惡な石鹸に含有さる丶遊離亞兒加里や澱粉などの如き皮膚の角質を荒らし、脂肪層を腐蝕さする人體に頗る有害な成分などは些しも含まれて居りませんから如何に弱き皮膚でも之れを損する虞なきのみならず皮膚を保護し自然の生々した美しさにいたします。尚暑中には汗止めとして日本に二つと無い絶品クラブ天爪粉を御持ちにならねばなりません、クラブ洗粉にて洗ひたる後クラブ天爪粉を輕く打つて置きますと汗疹や日焦けを防ぎ快き薫りが馥郁として三伏の暑猶一味の涼氣が生じて參ります。此外附けて高倘で洗つた後の生地の色までも白く美しくなるクラブ白粉と床しき淑女の薄化粧が手輕く出來るクラブ水白粉とを愛用すれば容色常に麗はしくなります。是等は夏期の皮膚衞生上一日も缺くべからざる品々でございます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

都會と田園

久し振りの故郷より(二)

薄田斬雲

□忽然別天地に入る

地方から都へ出た時には、大變賑かでお祭り騷ぎ的な浮立つた氣持になります、又都會から地方へ行くと誰しも寂寞の感に打たれます。處が兩三日經つと都會は甚だ窮屈で費用のかゝるものになり、人爲のせゝこましい趣きが、人をして殆んど畏怖させます。東京見物に來る田舍人が、直き飽きて歸るのは此の爲めです。

之と反對に都會から地方に行くと、其地の停車場へ降りた時四圍の光景の淋しさに氣が滅入つて了ひますが、翌朝熟睡して旅の疲れを休めた目で、露しつとりした田園の趣を見ると、忽然清々した別天地に生れ變つた樣で大自然の懷に抱かれた程の氣持になります。

□久し振りの郷里の町

私は今度郷里に歸つて再び此の感を新たにしました。東北は未開の地です、本州の中で一番時勢に後れて居ます。併し汽車の窓から見る光景は、西南も東北も其の風物に於て異るとも其の淋しさは略ぼ似たものです。唯だ停車場へ降りて町へ入つて見る時、西南と東北とは大變な相異です。それだけ今度東北の端に來た私は自分の故郷に歸つたにも拘らず、町の寂れ切つた光景に對して腹立たしさを感じました。折ふし小雨さへ降つて居たので、夕方の、不景氣な市中は、人通りも絶えたと見られたのです。

□口取りと鹽燒

故郷へ着いて最初の宿所はお寺の座敷でした、椽から見渡した廣庭の景色は、能く私の心を落付かせて呉れました

翌朝早く起きて見ますと、露に濡れた庭前きの廣々した風情は堪らなく氣に入つて私はすつかり前日の腹立たしさを忘れて了ひ、終日庭を眺めて暮しました。夫れから日が經つに從ひ、所謂紅塵萬丈の都會生活の窮屈を思ひ出して能くもあんな處に住んで居られるものと不思議な感じになります。之を人に例へると、都會は商賣婦の如きもので、地方は生娘です。前者は口取りの御馳走、後者は鹽燒きです。

□田舍生活の趣味

一週間ばかり經つて、今度は市外一里を距れた純然たる田舍の友人の家に寄りました。田舍の趣味は大きな屋根面の茅屋と、白い土藏と、其の中間に離室式の丈夫な二階家と苔の蒸した庭園と、數十人を容るべき大きな臺所と、玄關前きの平坦な廣庭と、此の廣庭の一方に程能く設けられた大きい井戸屋に在るのです。中にも此の玄關前きの廣庭は、奥行き三四十間、巾十間に余るもので、此のグラウンドが一番氣持好い遊び場所です。此のグラウンドを堺するものは、大きな土藏造りの物置き場、鷄小舍、豚小屋、廐などです。そして南側には梨子や梅の大木が四五本も有つて日陰を作り、涼風樹枝の間から湧いて來るのです。

□萬物皆生氣あり

裏畑へ出て見ると、有ゆる種類の野菜―茄子、胡瓜、いんげん、豌豆、甜瓜、西瓜、夕顔瓜など、十分に成熟して之を一種の藝術品として見ても、其の豐富な充實した處は觀る人に生々の氣を與へます、私の樣な病弱な者も、萬物皆な生氣ある此の光景に接して急に健康體になつた程の氣分になれます。

私は一生の根據を地方の小都會や、町に近い田舍に得て滿足して居る人が一番幸福であると思ひます。都會に腐れ縁を結んで陋巷に窮居する人の運命は、確かに悲慘なものです。（青森縣淺虫温泉より）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

オハナシ

猫と鼠（上）

たかこ

或る處に不思議な事には、猫が鼠とお友達になつて、大層なかよくなりまして、終ひには二人いつしよに一軒の家をもつ事になりました。或日猫は鼠に向ひ「私たちは今の中に冬の用意をしてをかなければなりません、でないと寒くなつてから困りますからね。それに鼠さん、貴君はよけいにあぶないでせうよ、づるい人間が貴君を、鼠とりにかけようと、用意をしてゐますから」と、或日猫が申しました。「本當にさうですね」と鼠は感心いたしました。それから二三日たつて、二人は相談して、ある家の臺所から、おいしい脂が一ぱいはいつてゐる大きな瓶を、そつともつてきましたが、二人とも、誰にもとられない様に、置いてをく處がわかりませんでした。

長い間考へぬいた末に、猫がはたと、膝をうつて申しました。

「あゝ、わかつた、私は教會が一番いゝだらうと思ひますよ、なぜなら誰も教會からものをぬすんで行く様な事はしないでせう。だからこれから二人でいつて、教會の祭壇の下にかくしてきませう」と。

そして二人は力一ぱい出して猫のいつた様に祭壇の下に、脂の瓶を運んで、かくしておきました。その時二人は食物がなくて、本當にどうする事もできなくなるまでは決してこれに手をつけない事を、かたく御約束いたしました。

然し半月もたゝない中に、づるがしこいその猫は、そのあぶらがたべたくてたべたくて、しかたがなくなりました。それで、或日「鼠さん、私は、今日従姉の子供の、名命親に招待されました、従姉は、白と茶の斑の少さい息子を、生みまして、私はその子の教母に頼まれたのです。ですからどうぞ私を外出させて下さい。そしてまことに恐れいりますが今日は、あなた御一人で御留守番をして下さい」と申しました。鼠は、「よろしうございますとも、御ゆるりと、いつていらつしやい、御みやげをおわすれなく」とにこ〳〵しながら心地よげに申しました。

みなさん猫の云つた事は、本當でございませうか、いゝえ、本當は従姉もなく名命親にも、頼まれはしなかつたのです。

子供の智慧

□朝顔の花の蓄音機

晟さん（五才）は四五人の友達と繪端書ブックを見て居りました中に、朝顔の繪のありしを見て「お母ちやん此處に蓄音機があると申したので皆々成程と感心しました。また晟さんは玉子が至つて好物な爲毎朝食べて居りましたが、この四五日やらぬので「お祖母ちやん、玉子はもうないのですか」と申しますので、祖母は「あゝもうないのだ」と云ひますと「そんならもう玉子はできんのですか」と申しました。玉子も胡瓜や茄子と同じやうに、木になるものと思つて居る様子です。（富山縣吉田はつ）

□面白い話とは

盛ちやん（六つ）は今朝田舎から久々でお客様に來られた叔母さんと一緒に、朝々お膳に向ひました。叔母さんは「田舎では却つてこんな若い茄子や胡瓜は食べられない」などゝ申して居ると、盛ちやんは「叔母さんそんなつまらない話ばかりして居るなら、田舎へお歸り」と云ひます。「それならどんな話をするの」と聞くと「桃太郎さんや舌切雀の話をするのだ」と尤もらしい顔をして居ります。（東京一愛讀者）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

嬢ちゃん（四）

阪東みちゑ

お汁粉をいたゞく時、先生は何が一番お好きですかと尋ねると、先生は丸い顔に笑窪を見せながら、「私はお壽し」と云はれたから、「それでは先生そのおすしも序に御馳走になりませうか」って訊いたら、側に坐つてお給仕をして居た婆やが「直にこしらへてあげます」と云つて立つて行つた。私は此の婆やも好でした。先生がお國から連れて來たのださうですが、もう六十歳位の田舎者なのだけれどなか／＼おもしろい婆さんでした。人間の顔さへ見ると可愛ゆくなるのださうです。先生でも、私でも、外の生徒さんでも、みんな可愛いゝのだと云ひました。伜が亡くなつてたよりがないから、どこまでも先生について歩くのだと云つて居ました。先生も婆やは好きだと云つて居られた。

「先生はお嫁にいらつしやらないのですか」って訊いて見たら

「えゝまあしばらく嫁きません」と答へられた。國で先生位の年になつてお嫁に行かない人は稀なので、不思議に思つたからです。「なぜですか」って訊きかへしたら、先生は床の間に飾つてある寫眞の方をちよいと見て、「今に嫁きますよ」と云はれた。寫眞は八字髯の生へた男子でした。「これは先生の旦那樣で、今獨逸で學問を勉强して居られるのだ」と婆やがあとで説明してくれました。

「あなたもお嫁に行きますか」って先生がにこ／＼しながら尋ねられたから、私は一寸返事に困りました。私はまだお嫁に行くのか行かないのか考へて見た事がなかつたからです。急に考へやうと思つてもわからないから、「わかりません」と返事をしました。婆やが「罪のない人だ」と云ひました。

十六

歸る時先生が「これをお土産にあげます」と云つて、戸棚からかるやき煎餅を出して下さいました。

寄宿舎へ歸ると四年の下川さんが待ちかねて居て「あなたけふはお當番でせう早くお湯にはいつていらつしやらなくちやあ」と注意せられました。考へて見ると、けふはお炊事の當番であつた。遅れるとわるいと思つたから大急ぎでお湯にはいりました。お湯は一坪の湯壺が廣い板敷の眞中に切り込んであつて、大勢一所には入る仕掛けになつて居ります。私は急がしいから濡れた板間を大股にさつさと歩いて居たら、足がすべつてつひ轉んでしまひました。みんなが風呂の中が響くやうに笑ひました。そんな事にかまつて居られませんから、急いで着物を着てお炊事場に行きました。

お炊事場は私と下川さんと、次の部屋の二人と四人の當番でした。お多代といふたち臼のやうな體格をした女と藤吉と云ふ四十位の大男と二人で、風呂桶のやうなお釜を二つ竈の上に据ゑつけて御飯とお汁を炊いて居た。私たちは襷がけになつて、五十ほどあるお鉢を風呂桶のお

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

釜の側へもち運ぶのです、そして人の顔ほどある大杓子で御飯をお鉢の中へ盛分けます。そして食堂のテーブルの上にごん／＼運んで行くのです。今一つのお釜の中は何があるのかとのぞいて見たら、卵の花汁といふ豆腐の糟をどろ／＼に溶かしたものでした。私たちが大きなお盆の上に澤山汁椀を並べて、お釜の側へ行くと、中へ落つこちるとあぶないからと云つて、女が汁をつけてくれました。何だか不味さうだけれど仕方がないから、ごん／＼運んで行つて食卓の上に並べました。並べてしまふと、藤吉が、食堂の入口にかゝつて居る板木を打ちならします。板木の音がカン／＼と夕暮の寄宿舎にひゞき渡ると、此音を待ちかねて居た三百人の人たちが、ゾロ／＼と廊下一杯になつて出て來ます。そして舎監の鳴らされる鈴を合図に御飯が始まるのです。みんなお行儀よくして、小さなお口をして食べて居られました、御飯も二杯か、三杯以上食べる人はありませんでした。私は風呂へはいつたりお當番をしたりしてお腹が空いて居りましたから、精出していたゞいて、五杯代へました。前に坐つて居た人が驚いたやうな顔をしましたけれど、私は外の人より早くいたゞきますから時間は皆と同じ位ですみました。

翌る日福谷先生の文法がありました。始めて先生と顔をあはせた時「昨日は有難う御座いました」と云ふ處を簡略にしてにこ／＼笑つてお辭儀をしたら、先生も嬉しさうに挨拶をせられた。

先生は教壇に上つて禮をしてから、「品詞は何々ですか云つて御覧なさい」と云つて教場中を見まはして、一番眠さうな顔をしてうつむいて居る羽山さんといふ人の名を呼ばれました。羽山さんは居眠りがすきですけれど、白い顔をして黒い髪、赤いリボンをかけた可愛い人です。そして私の隣に坐つて居るのですから、私もぎくりとしました。羽山さんは吃驚して今まで細くなつて居た眼をしつかりと見ひらいて、「名詞、動詞、代名詞、形容詞、副詞、前置詞、接続詞」まで暗記しておいた通りをつる／＼と云つたが今一つが息詰つて、どうしても出て來ないものだから、「もう一つありますが私は忘れました」と云つて坐つた。そしたら先生が「それではお次ぎ」と云つて、私の顔を見られました。さつきから云ひたくて仕方がなかつた處だから、直に立つて「感投詞」と云ひました。すると先生は「感投詞は何ですか」と質問の矢をむけられた。「人間が物に感じた時思はず發する詞です」と此間教はつた通りをくりかへすと、先生はまた「感じるとはどんな事ですか」と突込んで來られた、困つたから、しばらく考へて「はつと胸に徹へる事です」と云つたら、先生はにこ／＼笑つて「なか／＼甘い事を考へつきました」とまた褒めて下さいました。

みなし子

安中花子

野萩など折りて歸りぬひたすらに身の行末の嘆かれし夕。

わづかなる塵とは知れど目の前にたゞよふ見ればいらだゝれぬる。

父もあり母もゐますをいつの日に我みなし子の嘆おぼえし。

此の日頃よざみ勝ちなる我が心小石ひとつも投ぐる人なき。

かりの世のかりの姿と思へども一人し居れば悲しかりけり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

□日光へ行幸啓　天皇皇后兩陛下には御避暑の爲五日發日光御用邸に入らせられました。

□天長節御祝典　來る卅一日は今上陛下第卅八回の天長佳節に當らせられますが、御避暑中につき還幸啓あらせらず、觀兵式及び宮中豐明殿の御宴會は例年に依り、十月卅一日の天長節祝日を以て行はせらるゝ由に承はります。

□李王世子の御慶事　李王世子垠殿下には、今般梨本宮守正王殿下第一姫宮方子女王殿下と御婚約遊ばさるべきやう、御内定遊ばされました。姫宮は本年御齡十五才にて、學習院女學部第三學年に御通學、優等の御成績におはしまし、世子殿下は本年廿才に達せられ、明年は陸軍士官學校を御卒業あらせらるゝ筈で、聰明の聞え高く渡らせられます。

◉英帝の親電　英國皇帝ジョーヂ陛下は盟邦元首に對し、左の親電を發せられました。

「予は我勇及勇敢なる聯合國が共に戰ひつゝある此大戰亂開始の第三年に際して、我盟邦諸國が協力一致干戈を取つて起つに至りたる目的を貫徹する迄は戰ひを熄めざる決意なるを陛下に告げんと欲す。予は我勇敢なる軍隊が拂ひたる貴き犧牲をして無益ならしめず、彼等が戰ひつゝある自由が完全に保證せらる可きものなるを誓ふ、而して予は陛下が予と同樣の決心ならん事を信ず」

◉塞國皇太子出陣　塞國皇太子は今後塞國軍の指揮に任ぜらるべく、近々同國戰線を視察せらるゝ由です。

◉獨墺軍の總司令　伯林にて開かれたる軍事會議の結果、ヒンデンブルグ將軍を新に獨墺聯合軍の總司令官に任命し、露國の戰線に於て大に活躍し、其の攻勢を崩壞せんとして居ります。

◉汽船小雛丸擊沈さる　村井吉兵衛氏所有なる小雛丸(三千四十噸)は、八月二日英領アレキサンドリア沖合にて、敵の潜水艇の爲めに擊沈せられ、船長若澤太吉(三四)氏のみ敵艇の捕虜となりました。同船は千八百八十五年英國にて建造されたもので、本年四月一ヶ月七萬圓を以つて佛國政府との間に傭船契約成り以來御用船として軍需品輸送に從事して居たのです。

◉支那大總統の權限制定　總統府と國民黨との權限不明の爲め、動もすれば衝突を生ずるにより、左の五箇條を制定しました。

(一)中央地方官史より大總統宛上申は全部國務院を通過する事(二)中央地方の特任官の任命は大總統國務總理の協議を要す(三)大總統が各部の改革をなさんとする時は國務總理の同意を要す(四)國務總理より大總統宛文書は總統秘書長を經るを要す(五)大總統令は總理の副署を要す。

◉支那公使の國書捧呈　新任支那公使章宗祥氏の黎大總統信任狀捧呈は、二日午前十時三十分宮中鳳凰の間に於て行はせられました。式終つて章公使は夫人と共に桐の間に於て　皇后陛下の拜謁を仰付けられました。

◉林公使の首途　新任支那公使林權助男は、四日午前八時半下關行特別急行列車にて出發されました。

◉逝ける二將軍　六月下旬より、相州鎌倉材木座の別邸に滯在中なりし、從二位勳一等功一級海軍大將男爵上村彥之丞氏(六二)は、去月卅日以來感冒に罹りて就蓐中、俄かに病勢革り、急性肺炎にて七日午後九時十分遂に薨去されました。日露戰史に異彩を放てる蔚山沖の激戰は、將軍の勳功の主なるものでした。又陸軍中將山田忠三郎氏(五八)は過る三日腎臟腫にて赤十字病院に逝かれました。氏は前宇都宮第十四師團長にして日露戰役に於ける戰功も多く、殊に陸軍省人事課長として頗る令名がありました。かく引き續いて二將軍を失ひましたのは、國家の爲めに惜しむべきことでございます。

◉帝大生の慘死　帝國大學生小山秀三(二四)同藤井彥七郎(二七)同安川牛衛門(二三)同中村孝三(二二)及び、深川小學校教員山室林次郎の五氏が、甲武信の國境なる國師嶽の絕頂金峯山攀登を試み、去月廿五日東京を出發し、三十日歸京の筈でしたが、出發後十一日目なる本月四日に至るも音信なかりし故、各家族は非常に憂慮し、四日山梨縣の警察に搜索方を依賴し、一方父兄は甲府に急行し、八方搜索に努めたるも更に手懸りなく、六日正午に至つて中村孝三氏一人富村なる丸善製板所に辿り入りて助を乞ひたるが、其のまゝ昏睡狀態に陷り、他の四名の消息は知る由もありませんでしたが、七日午前九時稀井澤恩賜林中に於て死體となりたる四名を發見致しましたのは悲痛に堪へません。こゝは縱の密林にて、海拔五千尺以上の高所なれば、寒氣と饑餓の爲めにかゝる慘事を釀したものと思はれます。

◉花の日會の私娼救濟　同會幹事なる吉岡彌生、嘉悅孝子の兩女史は、去る卅一日淺草千束町の私娼窟を視察し、佐々木象潟署長を訪れて、私娼に就ての詳細なる意見を聞き、三千に餘る憐れな私娼を救はんとして目下計畫中です。その第一步としては、吉岡女史設立の飯田町なる至誠病院内に施療部を設けて病氣を癒し、第二には婦人ホームを設けて、賴るべないものを收容し、萬端を世話して光明に導き度いと、專心其の準備を急がれて居ります。

◉新理學士女高師に迎へらる　今年東北大學を卒業せし日本最初の女理學士黑田ちか子、牧田らく子の兩女史は、更に進んで大學院に入らんとの望みもありましたが、矢張母校戀しく、愈々東京女子高等師範の講師となる事となりましたので、中川校長初め校內一同喜色に滿たされて居ります。

◉保姆講習會　本年初めて催された文部省主催の全國幼稚園保姆講習會は一日午前九時よりお茶水なる東京女子高師に於て開會式を行ひました。會員は總て百七十五名で、中には六十を越えた老婦人もあるとの事です。同會は日曜を除き一日より十日間毎日午前八時から十二時迄開會されて居ります。

◉看護婦會長に訓示　警視廳栗本衛生部長は二日正午より府下及び市內の看護婦會長百八十餘名を召集し、同廳國澤醫務課長、松江技師、小川屬官等立會の上左の訓示をなしました。

看護婦會長は、其帳簿を整理し、會員に對する派出手數料等を明記する事。會員中素行不良の者、或は犯罪を犯し、又は他の看護婦會より脫會されし者は絕對に入會せしめざること。現會員中に不品行の行爲又は不善を爲したる者は必らず警視廳に密告すること。看護婦會監督の任に當る警視廳又は所轄警察署は、臨時出張して看護婦會內部に就き取調を爲す事あるべし。看護婦會は他の看護婦會と競爭する事を絕對に禁ず。

◉工場法施行の公布　來一日より施行さるべき工場法施行規則は、三日官報を以つて公布されました。而してこれは職工を十五人以上使用する工場にて適用さるゝものであります。その內容の主なる點は、女工及び十五才未滿の男女工の就業時間を十二時間に短縮し、尚毎月二回休日と毎日卅分乃至一時間の休憩時間を設けること。及び危險、不衛生と認めらるゝ業務に就かしめざること。精神病、傳染病者、產後日數を經ざる產婦を使用せぬこと。職工が業務上負傷し、又は疾病に罹りたる時には、工場主は全癒或は死亡に至るまでの療養費を支給する外、三ヶ月內は一日に付き賃錢の半額を、其の後は三分の一を、もし三年を經過し治癒せざる時は、百七十日分の賃金を支給して扶助を絕つ等の諸件で、專ら職工の保護を主張してあります。

◉小學讀本編纂　現在の國定教科書は、其の實質に於て缺點多き爲め、各方面より非難さるゝを以て

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

文部省は更に別個の教科書（第二種と稱す）を編纂する事に決定し、愈々本月下旬委員會を開き、其の結果來月中旬小學讀本全體の考案又は其一部を全國より懸賞にて募集する筈です。尙ほ過日歐米旅行の途に就きし芳賀博士の後任として、幸田露伴博士が入られる事となりました。

◉著しき小學生の增加　東京市に於ける現在の特殊、官公市私立の尋常及び高等小學校の總數は二百卅四校で、前年に較べて市立小學校は尋常高等各一校宛を增し、私立は六校を減じましたが、在學兒童數は、特殊の夜學校及び補習學校及び同程度の學校生徒一萬を加へて、實に二十二萬を算します。これを昨年に比すれば一萬三千人の增加を見ます。此の分で數年を經過すれば東京市は忽ちにして兒童を收容すべき校舍が缺乏するやうになるでせう。

◉依托小包郵便　今回遞信省にて考案中の購買依託小包郵便と申しますのは、頗る便利なもので、遠隔地に在つても其土地の郵便局へ依囑すれば、各自の欲するものが購求送附して貰へるのだと云ふ事です。而しその購買依託の範圍などの程度迄廣めるかゞ問題ですが、當局は先づ書籍から初めて、一定價格の物品に實驗し、順次に他方に亘らうと計畫中の由です。

◉學生回數券の取扱ひ交涉　東京市電氣局では、學生回數券の取扱ひ方に就き、各學校へ次の樣な依賴を致しました。(一)生徒の回數券請求書をなるべく一括して電氣局へ送られたき事、(二)翌月分の回數券は前月十五日迄に學校から電氣局へ通知する事、(三)五十部以上には電氣局から學校へ出張して代金と引替ること の三條件ですが。各學校で快諾されゝば、學生の爲めには至極便利なとでせう。

◉印鑑屆の改正　東京府は五月公報を以つて、他より移轉して來た者は、前住所の市區町村長又は戶主の證明書を添へて印鑑屆をすれば宜しと云ふ、一部改正を發布致しました。

◉函館の大火　二日午前三時四十分函館旭町白玉製造所より出火し、市内目貫の八箇町を燒き拂ひ、九時頃漸く鎭火致しました。燒失戶數約二千に亘り、負傷者數名を出し、通信機關に大故障を來す等慘狀を極めました。

個人消息

△前田漾子（侯爵夫人）　廿六日英國リバプールに着かれたさうです。

△目賀田逸子（男爵夫人）　井上圓了氏夫人と同道七日出發、輕井澤を經て、淺間山麓を旅行、數日の後歸京の筈。

△廣岡郁子（久右衛門氏夫人）　近く出產の筈にて順天堂病院に入院中。

△久野久子（音樂學校助教授）　鄕里滋賀縣大津に歸省中。

公娼廢止運動費

一　**本社宛寄附の分（一口金五錢）**

槙田菊野（六口）

累計六百〇七口

編輯室より

▲忙しさに暑さをも沁々味はぬ間に、はや村雨や風の音に爭はれぬ初秋の氣分が漂うて參りました。これから日每に太陽も司らぐと思へば、ほつと息づかれますが、さすが淡い悲しみた覺えずには居られません。▲今編輯室の卓上には、湘南の避暑地巡りをされた記者の民子さんの家づとの濱琵琶が紺靑の葉の間から藤紫の花をのぞかせてほのかに薰つて居ります。▲函館に大火があつたと聞きます。同地の讀者諸氏の中、もしやその災厄に遇はれた方はなきかとお案じ申して居ります。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有らゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絶對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財產調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依賴に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれには依賴者が至當と想はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社内（電話番町四五六六番）

人事相談所

婦人週報

〔每週金曜發行〕

定價表

△壹部金五錢（但し郵送料五厘を含む）
△一ケ月（四部又は五部）金貳拾錢
△三ケ月（十三部）金六拾錢
△半年（廿六部）金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

廣告料

△特等（表紙の二、四）金參拾圓
△壹等（表紙の三、白紙前付）金廿五圓
△貳等（色紙の表側）金廿貳圓
△參等（色紙の内側）金貳拾圓

注意

▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は一割增の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

發行兼編輯印刷人　小橋三四子
東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷所　東京支店　福音印刷合資會社
東京市牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地
發行所　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

海に山に銷夏の好伴侶

(最新刊)

東京帝國大學醫科大學講師 醫學博士 唐澤光德先生序

河合小兒科院長醫學士 河合三郎先生著

不用意が招く愛兒の死

本書は育兒上總ての方面に論究し且各項に附するに實例二十有余を以てす。燒酎を飲まされる胥臓炎の兒あれば痲疹に總領娘を失ふ家庭醫學の大家の親あり。百日咳にて死せる坊チャンの述懷あれば祭禮の犧牲たりし源チャンあり唐澤醫學博士大正小兒養育氣質と可稱好著なりと、行文平易銷夏の好伴侶たると共に絶好の育兒參考書本書に序して曰く、本書はむしろ必ず本書を備へて愛兒の保健を期せよ。敢て大正の新家庭に薦む。たり。父の机上、母の座右、

四六判三百五十頁
總布製箱入美本
定價壹圓貳拾錢
郵稅八錢

新刊發賣

アダム以前

ジャック、ロンドン著

文學士 内ヶ崎作三郎序 篠崎彦三郎譯

これ米國新進の一大名作家ジャック、ロンドンの傑作にして、虛飾、虛禮、贅澤、煩瑣に失せる物質偏重の現代人生活に一大警告を與へ、輕佻の現代人に痛棒を加へし諷刺的快著である。心理學と生物學とを基礎として我等の祖先元始人類の野性的生活を極めて科學的に縦横に精細に描寫し、人類進步の經路を最も精密に叙述したる所、人類の根本的解剖にして而かも藝術味豐かに力と想像と興味とに満ちたる眞に驚嘆す可き暗示的科學小説である。

四六判クロース
美裝箱入
價八十錢・送料八錢

發行所 東京市麴町區平河町五丁目 振替口座東京二〇一九四一番

洛陽堂 (電話番町 四二五八)

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察 月、金、木午前及（木）午後六時
林、峠間両副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ヶ谷見附内）
電話番町六二番

東洋内科醫院

院長 醫學博士 高田畊安

電話ちがさき二番

南湖院

神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋両副長は目下當院に在勤
院長診察 土曜日 午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

クリーニング

は一滴の水を用ゐずして如何なる汚れも殆んど**新調**同様になります

和洋服 **外套インバネス**（東コート） **ネル・セル・ショール** **牛襟毛皮**等のクリーニングと染色を**丁寧親切**迅速に致します

○局部シミヌキ
○御一報次第参上

各國大公使館 帝國ホテル 御用

日比谷クリーニング商會
日比谷公園停留場際 電話新橋三一〇八

◎産婦人科◎小兒科

宅診午前 往診午後
病室、産室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ

院長 女醫 吉岡彌生

東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地

東京至誠病院

電話番町二三五七

齒科

ドクトル 富田貞一

日本橋區高砂町六（久松町停留場より西一丁）
電話浪花五四〇五

かつけ特効薬

手足のシビレむくみを去り
心臓を強め衝心を防ぐ

新薬 **ブラニン**

一瓶【八日强】金六十錢 送料不要

發賣元 目白薬局
東京市小石川區高田老松町
振替東京三一六九二

産科、婦人科、小兒科

東京府内藤新宿番衆町卅一番地

女醫 井出茂代

電話番町三六七七番

内科 小兒科

第一家庭病院

院長 醫學士 加用信憲

（入院隨時）

牛込區矢來町二十四番地（電話番町二八〇二）

英語生徒募集

高等女學校卒業生に適當の各級あり又年長者にして英語初歩より學ばれんとする者にも懇切に教授す。家庭的寄宿舍の設けあり。ピアノ個人教授の需めに應ず

本郷區彌生町三番地
英語專門私立 櫻井女塾
電話下谷六八一五番

技藝夏期講習會

八月中都下一流の専門大家を講師として左記九科目の短期夏期講習會を開催す。個人教授の方法なれば入會隨時にて差支へなし。

●袋物●刺繍●行李編●摘細工●造細工●縫細工●儀式用折紙●水引の結方

會費は各科共普通科壹圓、高等科壹圓五拾錢

東京麹町九段靖國神社右横

大妻技藝傳習所

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發行所 東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA